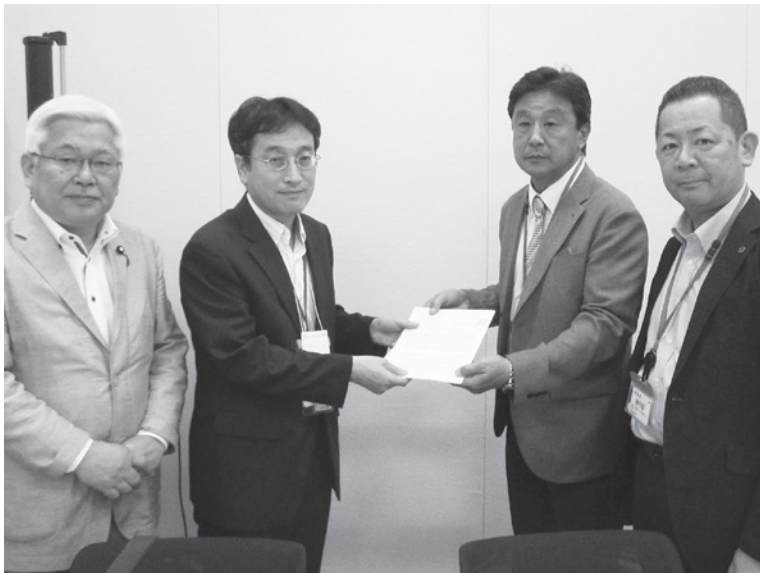




# 全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 竹内洋司／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271  
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>



左から、武内則男衆議院議員、川島総務省消防庁消防・救急課長、村上全消協会長、大嶋自治労本部組織強化局長

全消協は7月3日、総務省消防庁に対し、「消防行政の充実強化に関する要望書」を提出した。

この要請は、武内則男衆議院議員の協力の下で実現し、村上会長をはじめとする全消協四役および、自治労から大嶋組織強化局長が参加した。総務省消防庁からは、川島消防・救急課長、阿部消防救急課長、田村職員第1兼第2兼教養係長、高木総務事務官が対応した。予算の概算要求時期を踏まえて

実施した今回の要請内容は、①緊急消防援助活動等について、②働きやすい職場作り、公共サービスの充実について、③民主的な職場環境と労働安全衛生体制の構築について、④広域化について、⑤人事評価制度について、⑥定年延長を見据えた消防職員の働き方の検討について、⑦消防職員との協議の継続・推進についての7項目。今年の要請では、新たに④広域化について要望し、広域化にあたっては、行財政上のスケールメリットの観点だけでなく、地域の実情や職員の視点・意見を踏まえたものにするよう訴えた。

これに対し、川島消防・救急課長は②③④の項目について回答した。②のうち「消防力の整備指針」に示した必要な人員を充足する財源確保については、「今年度の地方財政計画は全国ベースで1000人増強をはかっている。平成27年からは消防本部ごと、整備指針の充足率達成にどれだけ必要なのかということ公表することにより、消防本部に不足している状況を認識させる取り組みをしている。都道府県に対して

も整備するよう通知も発出している」と述べた。④の広域化については「人事ローテーションの活性化など職員側にもメリットがあることから地域の実情と職員の視点を踏まえた上で、広域化を進めていきたいと考えている。推進にあたっては、人員削減につながらないよう、消防力をきちんと維持するよう人員確保に努めていきたい」との見解を述べた。その後、要請事項をめぐって、人員不足の問題のほか、ハラスメントが一向に減らず全国の消防職員から



## 総務省消防庁へ

# 「消防行政の充実強化に関する要望書」を提出

職場環境の改善に向けた取り組みの必要性を訴える

全消協事務局にも相談が寄せられている現状、職員の視点を欠いた広域化により現場が疲弊している実態などについて意見交換を行った。また、女性だけでなく、すべての職員にストレスがかからないようにするため、仮眠室の個室化など施設整備の課題についても要望した。

全消協は、今後も消防庁に対し職場実態を伝え、実態に即した政策提起を行い、より良い消防行政の確立にむけて取り組みを進めていく。

全消協

# 第47回全国消防職員研究集会

2019年6月7～8日の2日間、天満研修センター（大阪）で開催、133単協、256人の会員（未組織含む）が参加

## 初日 全体集会

村上直樹会長より、「この研修会で知識を深めていただき、参加者間で交流を深めて充実した研修にしたい」と主催者挨拶を述べた。

来賓には、開催地を代表し地元大阪から金城光志四條畷市消防行政研究会会長、柚谷尚彦自治労中央本部副執行委員長、山口勝己自治労大阪府本部委員長、自治労消防政策議員懇談会事務局長の武内則男衆議院議員、そして第25回参議院議員選挙自治労組織内候補予定者である岸まさきさんより、それぞれ力強い挨拶をいただいた。

### 本部提起

明るく魅力ある消防職場をめざして

斉藤英之副会長より、全消協が結成してから現在まで、団結権回復をはじめとする数多くの課題解決にむけた活動や組織強化・拡大の経過について説明した。その後、これからの組織強化、組織拡大の取り組みについて、それぞれ個別

提起を行った。

### 活動報告

#### ①全消協2019年度活動報告

竹内洋司事務局長より、ILO勧告、消防職員委員会制度告示改正ならびに総務省消防庁との定期協議を中心に、全消協が行っている取り組みの状況について報告した。

#### ②自治労報告

高橋篤自治労本部総合組織局長が、自治労消防政策議員懇談会の設立の経過等について報告した。

#### ③女性連絡会2019年度活動報告

松森玲奈女性代表より女性連絡会で実施した会議、昨年度から開催している女性交流会や女性会員対象のアンケート作成にむけた取り組みについて報告した。

#### ④ユース部2019年度活動報告

吉田真也ユース部代表より、ユースで行ったアンケート調査の報告やユースStepUPセミナーの実施などに関する取り組みについて報告した。

### 記念講演

#### 「災害時に必要なディシジョンメイキング」

秋富慎司防衛医科大学校准教授が、東日本大震災やJ-R福知山線脱線事故など、さまざまな災害現場の経験をもとに、規模の大きな災害時に必要なディシジョンメイキングについて講演を行った。



## 2日目 分科会

# 5つの専門分野で研修開催 担当した幹事の所感

### 第1分科会 組織強化・拡大

佐藤昭徳九州ブロック幹事

「なぜ協議会ができたのか」そして現在私たちがむかうべき方向ユース部の重要性について、各班で話し合った。午後からは、全消協ユース部幹事と一緒に、「脱会者を止めるには」「ユース部を設立するには」「協議会に入ってもらうには」をテーマに、模擬オルグを実施した。今後も明るく魅力ある職場作りのために、さまざまな活動を共有する場を提供できるように頑張りたい。

### 第3分科会 労働安全衛生

山端孝明四国ブロック幹事  
本多将人東北ブロック幹事

ブロック幹事がメンタルヘルスおよびハラスメントの基礎知識についてそれぞれ講義を行った。その後、自治労本部の白井法対安局長が「メンタル対策、今できることを考えよう」をテーマに、講義とグループワークを行った。メンタル対策は、自分や仲間を守るだけでなく、少しでも働きやすい職場づくりにつながる。その重要性を参加者へ伝え、職場の取り組みをより一層強めてもらえることを期待したい。

### 第2分科会 賃金・労働条件

大山剛史東海ブロック幹事  
川上修司近畿ブロック幹事

スライドを使用した講義およびグループワークを主体として行った。消防職員である前に「労働者」であることを前提に、無賃金拘束であることや1か月の変形労働時間制などを細かく説明した。多岐にわたる内容について全員で知識を深め、参加者からはさまざまな問題・課題が出され、有意義な講義となった。

### 第4分科会 救急医療体制

福岡薫関東甲ブロック幹事  
返町直也北信ブロック幹事

「救急現場のコミュニケーション」とハラスメントを考える」をテーマに講義を行い、後半は「防災へり事故について」、全消協としての取り組み状況を報告した。その後、「消防業務の課題改善にむけた取り組み」をテーマにグループディスカッションを行い、活発な意見交換が交わされた。発表の中で消防職員の定数割れ、部

### 第5分科会 男女平等参画・国際連帯活動

西尾基貴中国ブロック幹事  
吉田真也ユース部代表  
仲野桂太特別幹事

「すべての人が働きやすい職場の実現にむけて」をテーマに分科会を開催した。仲野特別幹事から「国際連帯・消防職員委員会制度改正」、吉田ユース部代表から「男女共同参画・LGBT」について講義し、聴講する参加者の熱意を感じた。とくに、午後からのグループワークでは、各グループで活発な議論を行い、自分たちの所属する職場で何ができるか？何をすべきか？参加された方一人ひとりに考えていただく一助となったと感じた。



# 全消協女性連絡会第2回交流会

## オブザーバーとして男性職員も参加！ 全国から24人が自治労会館（東京）で意見交換を行う！

6月21、22日の2日間、2019年度第2回女性交流会を東京・自治労会館で開催した。初日は、交流会前の懇親会を開催し、19人の参加者が各地域の話をするなど情報交換した。2日目の交流会には24人が参加し、横浜市の女性消防職員2人を講師として迎え、「女性消防職員の働く環境と取り巻く課題への工夫」と題して、採用されてから今

までの経験についての講義を行った。その後、業務時における問題とその解決方法についてグループディスカッションを行った。その後、全消協女性幹事による講義を行い、松森玲奈女性代表から「選挙活動と協議会の関わり」、今城裕果幹事から「女性連絡会の活動紹介」、岡久佳乃子副代表か

ら「女性消防職員に関する法令の解釈」について講演した。今回の交流会は、オブザーバーとして男性職員が3人参加し、懇親会ならびにグループディスカッションを通してさまざまな意見交換を行った。女性、男性のそれぞれの考え方などの共有がはかられた。



## 半鐘のそだま

全消協ユース部の役員として2期4年が経過しようとしてくる。

私が消防士を拝命したのは2002年で、この時すでに私の所属には協議会があり、職員の総意として意見を出しやすい職場環境が構築されていた。当時は、それが当たり前前の環境であると思っていた。

この4年間で、全国の多くの仲間と触れ合う機会をいただき、苦しみ、悩んでいる仲間が大勢いること、職場で意見をいえない環境

があることなど、多くのことを学ぶことができた。改めて協議会を設立していただいた先輩方の努力に感謝と敬意を表したいと思う。

だからこそ、これからの時代の消防を担う我々一人ひとりが、協議会の必要性を見つめ直し、「先輩方の協議会」から脱却し、「自分たちの協議会」を創っていく必要があると感じている。

そのためにも、ここで築いた仲間を大切に、これからも切磋琢磨して一緒に前進していきたいと思う。

吉田真也（ユース部代表）

ぜひアクセスや「いいね!」をお願いします。

全消協  
ホームページ



ユース部  
公式Facebook



全消協  
公式Facebook



女性連絡会  
公式Facebook



### 最新の全消協活動を 配信中です

次回、全消協の予定

2019年8月24日

## 全消協第43回定期総会

場所 ホテルニュープラザ久留米（福岡県久留米市）

# 第2回女性交流会を終え、 今後もさまざまな活動が続ける女性連絡会！

## 松森代表にインタビューしました！

### —女性交流会について

昨年引き続き、6月21〜22日に第2回女性交流会を開催しました。多数のご参加をいただき、また横浜消協より2人の女性消防職員に講師としてお越しいただきました。各地域さまざまな環境下で働く全国の同士が活発な意見交換をできたのではないかと思います。

### —今回、男性が初めて参加していますが…

今回は男性の方のオブザーバー参加も募集し、3人の男性職員にご参加いただきました。多数の女性職員の中に参加されることとなり、「普段皆さんはこういう気持ちなんですね」と、学習会の新たな一面も見えました。



参加された理由として「同僚に女性職員がいるが、どのように女性が抱える悩みを解決し、環境整備をしていくべきか、皆さんにお聞きしたい」との声があり、



参加者の女性からは「同じ本部にそのような考えてくれる男性職員がいたらとても心強い」という声が多く聞かれました。

### —今後の活動の展望について

4年間代表をさせていただきましたが、女性連絡会の活動は「未知数」と感じています。女性活躍推進法が施行され、女性の消防職場進出が加速していますが、消防は自治体単位の組織という背景から各本部の実情は千差万別です。時の流れとともに先を行く消防本部と、いまだに女性のいない消防本部とでは「男性職員の感覚」は乖離しつつある印象を感じています。

女性連絡会を通して、知り合った女性会員同士が交流を持ち、お互いに悩みの共有や情報交換、時には逃げ場となるような機会を提供していけたら幸いです。また、女性消防職員とともに働く男性

職員の協力があつて、初めて職場環境改善は成しえます。そのために今後も性別問わず、すべての消防職員を対象に情報発信をしていきたいです。

### —終わりに…

初めて女性連絡会代表のお話をいただいた時、実は「動員ばかりで活動に納められなければ、女性連絡会をなくしてしまいたい」と考え、お引き受けしました。就任と同時に女性活躍推進法が施行され、女性消防職員への関心が一気に高まり、消防組織にとどまらず、連合やPSI、ILOと国内外の関係機関から女性消防職員の取り組みや、日本の消防職員の労働環境を知りたいという声寄せられるようになりました。

ILOの勧告や総務省消防庁と全消協が協議をしていく中で、ついには、総務省消防庁と女性連絡会との意見交換会が実現しました。一職員が通知文などを出す方々に意見を届けられる機会を得るとともに、現場の悲痛な女性職員の声に耳を傾けてもらえるようになったことは非常に大きな出来事で、これは活動を止めるわけにはいかなないと納得しました。

女性幹事の職を通じて、普段見ること

のできない景色や信じられないような経験、そして消防職員のためにたくさんの方が思いを馳せてご尽力いただいていることを初めて知りました。時には辛いことや理不尽な言葉をかけられたこともありましたが、その何百倍も温かいご支援・ご声援、叱咤激励をいただきました。なにより、多くの友人ができました。

私は、無理に消防職場にとどまる必要はないと思います。しかし、消防で働き続けたいと思うすべての職員が、安全に安心して定年まで働き続けられる職場になったらいいなと思います。

8月の総会をもって私は任期満了いたしますが、女性連絡会の活動はまた新たな力ラーで続いていきます。どうか、より一層の温かいご声援、叱咤激励のほどよろしく願います。本当にありがとうございました！



女性連絡会メンバー。右から2番目が松森代表